

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 平成26年11月14日

【四半期会計期間】 第76期第2四半期(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

【会社名】 林兼産業株式会社

【英訳名】 Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 熊山 忠和

【本店の所在の場所】 山口県下関市大和町二丁目4番8号

【電話番号】 下関(083)266-0214

【事務連絡者氏名】 管理本部 経理部長 宮崎 一郎

【最寄りの連絡場所】 山口県下関市大和町二丁目4番8号

【電話番号】 下関(083)266-0214

【事務連絡者氏名】 管理本部 経理部長 宮崎 一郎

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第75期 第2四半期 連結累計期間	第76期 第2四半期 連結累計期間	第75期
会計期間		自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高	(千円)	22,186,085	22,943,970	45,939,981
経常損失( )	(千円)	30,475	133,636	19,228
四半期(当期)純損失( )	(千円)	46,877	129,607	35,966
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	878	96,705	4,587
純資産額	(千円)	4,609,129	4,191,274	4,313,483
総資産額	(千円)	28,506,479	28,485,678	26,155,187
1株当たり四半期(当期) 純損失金額( )	(円)	0.53	1.46	0.40
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	14.3	12.7	14.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,597,232	364,017	120,892
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	433,207	308,838	279,881
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,344,017	726,786	82,586
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	1,389,373	1,887,638	1,834,053

回次		第75期 第2四半期 連結会計期間	第76期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	0.25	1.09

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第75期第2四半期連結累計期間、第75期及び第76期第2四半期連結累計期間は1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社に異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用情勢の改善や設備投資の増加が続く緩やかな回復基調にありましたが、個人消費には一部回復の遅れが見られました。食品業界におきましては、新興国の需要拡大や円安等により原材料価格の高騰が続き、メーカー各社は厳しい経営環境に置かれました。

このような状況のなか当社グループは、本年4月からの2カ年を「拡大」の期間とする「第二次中期経営計画（2カ年経営計画）」を策定し、スタートさせました。この新たな経営計画のもと、売上拡大戦略により収益基盤の改善と持続的な事業発展を目指しております。

この一環として、当社は本年4月にスターゼン株式会社（東京都港区）との間で業務提携の基本合意に関する契約を締結いたしました。両社の経営資源を有効活用することにより、食肉・加工食品事業における売上拡大と経営の効率化に取り組んでおります。

また、当社はより一層の「安全・安心」のため、品質管理体制の強化に取り組むとともに、フードディフェンス強化による安全対策やポルフ手法（工場革新のための実践プログラムで、製造体質を抜本的に革新する具体的な進め方と改善手法）の導入を進め、高品質を追求した製品づくりに努めました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、肉類や食肉加工品の売上が増加したことにより229億43百万円（前年同期比3.4%増加）となりました。損益面におきましては、養魚用飼料や食肉加工品の原材料価格の高騰、魚肉ねり製品の売上減少などにより、営業損失1億9百万円（前年同期は営業損失12百万円）、経常損失1億33百万円（前年同期は経常損失30百万円）、四半期純損失1億29百万円（前年同期は四半期純損失46百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、次のとおりです。

#### 水産食品事業

魚肉ねり製品におきましては、企業間の激しい価格競争が続くなか、魚肉ハム・ソーセージの販売数量が減少したことにより、減収となりました。

機能性食品におきましては、高齢者向けソフト食「ソフミート」や機能性食品素材カツオエラスチン、和菓子などの販売が好調に推移したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は17億44百万円（前年同期比2.8%減少）となりました。損益面においては、固定費の削減があったものの、セグメント損失（営業損失）は38百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）84百万円）となりました。

#### 畜産食品事業

ハム・ソーセージ等食肉加工品におきましては、豚流行性下痢（PED）の影響などにより原材料価格の高騰が続きました。こうしたなか、価格改定に取り組むとともに、拡販に努めた結果、増収となりました。

肉類におきましては、自社ブランド「霧島黒豚」を中心とした豚肉の拡販に努めた結果、増収となりました。

調理食品におきましては、惣菜やギフト製品の販売が好調に推移し、増収となりました。

これらにより、売上高は94億94百万円（前年同期比8.2%増加）となりました。損益面においては、価格改定の遅れにより原材料価格の上昇分を吸収しきれず、セグメント損失（営業損失）は56百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）1億4百万円）となりました。

#### 飼料事業

養魚用飼料におきましては、海外への積極的な販売活動に努めたことにより、増収となりました。

水産物におきましては、ブリ加工品の取り扱い量を減らしたことにより、減収となりました。

畜産用飼料におきましては、豚流行性下痢（PED）の影響などによる飼育頭数の減少で養豚用飼料の販売が低迷したほか、プロイラー用飼料の販売数量が減少したこともあり、減収となりました。

畜産物におきましては、生鳥の取り扱いを減らしたことにより、減収となりました。

これらにより、売上高は105億22百万円（前年同期比2.1%減少）となりました。損益面においては、養魚用飼料の主原料である魚粉価格の高騰もありセグメント利益（営業利益）は4億24百万円（前年同期比34.1%減少）となりました。

#### その他

その他の売上高は11億81百万円（前年同期比37.3%増加）、セグメント利益（営業利益）は1億2百万円（前年同期比37.4%増加）となりました。

## (2) 財政状態の分析

### (資産)

当第2四半期連結会計期間の資産合計は284億85百万円となり、前連結会計年度に比べ23億30百万円の増加となりました。

流動資産の増加（前連結会計年度比14億77百万円増加）は、主に受取手形及び売掛金が10億52百万円、商品及び製品が3億90百万円増加したことなどによるものです。

固定資産の増加（前連結会計年度比8億52百万円増加）は、主に破産更生債権等が8億79百万円増加したことなどによるものです。

### (負債及び純資産)

当第2四半期連結会計期間の負債合計は242億94百万円となり、前連結会計年度に比べ24億52百万円の増加となりました。

流動負債の増加（前連結会計年度比17億93百万円増加）は、主に買掛金が12億0百万円、短期借入金が3億91百万円増加したことなどによるものです。

固定負債の増加（前連結会計年度比6億59百万円増加）は、主に長期借入金が増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間における純資産合計は41億91百万円となり、前連結会計年度に比べ1億22百万円の減少となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が1億14百万円、退職給付に係る調整累計額が91百万円増加したものの、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額2億9百万円を利益剰余金より減算したことや、四半期純損失1億29百万円を計上したことなどによるものです。この結果、自己資本比率は12.7%となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フローは減少したものの、財務活動によるキャッシュ・フローの増加により、前連結会計年度末に比べ53百万円増加の18億87百万円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は3億64百万円（前年同期は15億97百万円の減少）となりました。これは主に仕入債務の増加が14億77百万円あったものの、売上債権の増加が19億24百万円あったことなどによるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は3億8百万円（前年同期は4億33百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入が90百万円あったものの、定期預金の預入による支出が1億90百万円、有形固定資産の取得による支出が2億30百万円あったことなどによるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は7億26百万円（前年同期は13億44百万円の増加）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が9億47百万円あったものの、長期借入れによる収入が14億97百万円あったことなどによるものです。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた問題はありませぬ。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は2億56百万円です。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	89,100,000	89,100,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株です。
計	89,100,000	89,100,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日		89,100		3,415,020		

(6) 【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
財団法人中部財団	山口県下関市大和町二丁目4番8号	7,306	8.19
マルハニチロ株式会社	東京都江東区豊洲三丁目2番20号	5,659	6.35
中部 緑	山口県下関市	4,000	4.48
三井物産株式会社 (常任代理人 資産管理サービ ス信託銀行株式会社)	東京都千代田区大手町一丁目2番1号 (東京都中央区晴海一丁目8番12号)	3,753	4.21
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	2,550	2.86
株式会社十八銀行	長崎県長崎市銅座町1番11号	2,530	2.83
損害保険ジャパン日本興亜株式 会社	東京都新宿区西新宿一丁目26番1号	2,208	2.47
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	1,750	1.96
株式会社山口銀行	山口県下関市竹崎町四丁目2番36号	1,574	1.76
三菱UFJ信託銀行株式会社 (常任代理人 日本マスタート ラスト信託銀行株式会社)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 (東京都港区浜松町二丁目11番3号)	1,298	1.45
計		32,628	36.62

(注) 財団法人中部財団は、当社元会長故中部利三郎氏の遺志により、主として当社株式を基本財産とし、山口県内における食品等の開発援助および社会福祉事業の助成等を目的として設立された法人です。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 60,000 (相互保有株式) 普通株式 10,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 88,873,000	88,872	
単元未満株式	普通株式 157,000		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	89,100,000		
総株主の議決権		88,872	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式4,000株(議決権4個)が含まれております。
- 2 「完全議決権株式(その他)」の欄には、株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的には所有していない株式1,000株が含まれております。なお、当該株式については、議決権の数には含まれておりません。
- 3 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式333株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 林兼産業株式会社	山口県下関市大和町 二丁目4番8号	60,000		60,000	0.06
(相互保有株式) 株式会社みなと	山口県下関市大和町 一丁目12番6号	10,000		10,000	0.01
計		70,000		70,000	0.07

- (注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的には所有していない株式1,000株があります。  
なお、当該株式は [発行済株式] の「完全議決権株式(その他)」の欄の普通株式に含まれております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人大手門会計事務所による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,916,672	2,133,560
受取手形及び売掛金	4,179,282	5,232,242
商品及び製品	1,771,478	2,162,376
仕掛品	1,849,540	1,755,074
原材料及び貯蔵品	1,532,779	1,433,980
その他	188,273	211,532
貸倒引当金	44,935	57,757
流動資産合計	11,393,091	12,871,010
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,902,866	3,787,608
土地	4,264,361	4,227,395
その他(純額)	1,879,626	1,769,049
有形固定資産合計	10,046,854	9,784,053
無形固定資産		
	52,782	49,339
投資その他の資産		
投資有価証券	2,849,960	3,067,473
破産更生債権等	2,886,055	3,765,680
その他	296,269	322,247
貸倒引当金	1,369,826	1,374,126
投資その他の資産合計	4,662,459	5,781,275
固定資産合計	14,762,096	15,614,668
資産合計	26,155,187	28,485,678
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,474,365	3,674,984
短期借入金	10,467,293	10,859,122
未払法人税等	45,017	44,244
賞与引当金	226,790	252,718
その他	1,556,906	1,732,310
流動負債合計	14,770,372	16,563,379
固定負債		
長期借入金	4,005,506	4,525,961
退職給付に係る負債	2,018,913	2,164,398
資産除去債務	5,930	5,930
その他	1,040,981	1,034,733
固定負債合計	7,071,331	7,731,024
負債合計	21,841,704	24,294,404

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,415,020	3,415,020
資本剰余金	5,989	5,989
利益剰余金	310,807	28,703
自己株式	6,445	6,530
株主資本合計	3,725,371	3,385,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	327,502	441,979
為替換算調整勘定	2,278	1,912
退職給付に係る調整累計額	298,214	206,452
その他の包括利益累計額合計	31,567	237,440
少数株主持分	556,544	568,058
純資産合計	4,313,483	4,191,274
負債純資産合計	26,155,187	28,485,678

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	22,186,085	22,943,970
売上原価	19,053,297	19,940,543
売上総利益	3,132,788	3,003,426
販売費及び一般管理費	3,145,579	3,113,039
営業損失( )	12,790	109,612
営業外収益		
受取配当金	40,269	43,344
その他	121,745	101,653
営業外収益合計	162,014	144,998
営業外費用		
支払利息	160,892	148,156
その他	18,806	20,866
営業外費用合計	179,699	169,022
経常損失( )	30,475	133,636
特別利益		
固定資産売却益	72	53,448
受取賠償金	27,278	
特別利益合計	27,350	53,448
特別損失		
固定資産廃棄損	3,902	1,020
減損損失	2,982	
特別損失合計	6,884	1,020
税金等調整前四半期純損失( )	10,009	81,208
法人税、住民税及び事業税	36,802	36,179
法人税等調整額	6,958	2,995
法人税等合計	29,844	33,183
少数株主損益調整前四半期純損失( )	39,854	114,392
少数株主利益	7,023	15,214
四半期純損失( )	46,877	129,607

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	39,854	114,392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,086	118,278
退職給付に係る調整額		93,177
持分法適用会社に対する持分相当額	111	358
その他の包括利益合計	38,975	211,098
四半期包括利益	878	96,705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,132	76,265
少数株主に係る四半期包括利益	11,253	20,440

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失( )	10,009	81,208
減価償却費	402,333	377,534
減損損失	2,982	
持分法による投資損益( は益)	13,976	26,324
有形固定資産売却損益( は益)	72	53,448
有形固定資産廃棄損	3,902	1,020
貸倒引当金の増減額( は減少)	25,884	17,121
賞与引当金の増減額( は減少)	21,237	25,927
退職給付引当金の増減額( は減少)	39,132	
退職給付に係る負債の増減額( は減少)		30,854
受取利息及び受取配当金	41,085	44,674
受取賠償金	27,278	
支払利息	160,892	148,156
売上債権の増減額( は増加)	522,130	1,924,319
たな卸資産の増減額( は増加)	654,774	197,633
仕入債務の増減額( は減少)	841,299	1,477,539
未払消費税等の増減額( は減少)	5,637	57,448
その他	39,820	31,292
小計	1,460,572	223,298
利息及び配当金の受取額	41,585	46,388
利息の支払額	161,449	148,789
法人税等の支払額	16,795	38,317
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,597,232	364,017
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	255,601	190,601
定期預金の払戻による収入	250,000	60,000
有形固定資産の取得による支出	414,609	230,777
有形固定資産の売却による収入	230	90,571
無形固定資産の取得による支出	5,959	3,800
投資有価証券の取得による支出	3,013	2,928
その他	4,253	31,302
投資活動によるキャッシュ・フロー	433,207	308,838
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	1,180,000	330,000
長期借入れによる収入	1,279,000	1,497,000
長期借入金の返済による支出	980,691	947,418
リース債務の返済による支出	125,370	143,790
少数株主への配当金の支払額	8,920	8,920
その他		84
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,344,017	726,786
現金及び現金同等物に係る換算差額	194	345
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	686,616	53,585
現金及び現金同等物の期首残高	2,075,989	1,834,053
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,389,373	1,887,638

【注記事項】

(会計方針の変更等)

当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日至平成26年9月30日)	
(会計方針の変更)	
<p>「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法をポイント基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。</p> <p>退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。</p> <p>この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が209,904千円増加し、利益剰余金が同額減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響は軽微です。</p>	

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結会社以外の会社の金融機関からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
赤鷄農業協同組合	123,008千円	赤鷄農業協同組合	110,696千円
小豆屋水産(株)	100,000	小豆屋水産(株)	100,000
計	223,008		210,696

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
貸倒引当金繰入額	996千円	16,703千円
賞与引当金繰入額	114,355	117,444
退職給付費用	106,125	102,020
発送・配達費	718,046	747,666

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金	2,046,800千円	2,133,560千円
預入期間が3か月を超える 定期預金	248,871	190,073
当座借越	408,555	55,849
現金及び現金同等物	1,389,373	1,887,638

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,794,992	8,776,811	10,753,438	21,325,243	860,842	22,186,085
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,116	59,143	813,023	877,283	194,993	1,072,276
計	1,800,108	8,835,955	11,566,462	22,202,526	1,055,835	23,258,362
セグメント利益又は損失 ( )	84,039	104,398	644,415	455,977	74,290	530,267

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	455,977
「その他」の区分の利益	74,290
セグメント間取引消去	17,531
全社費用(注)	560,589
四半期連結損益計算書の営業損失( )	12,790

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,744,673	9,494,760	10,522,896	21,762,330	1,181,640	22,943,970
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,945	78,690	771,939	869,576	235,168	1,104,744
計	1,763,619	9,573,450	11,294,836	22,631,906	1,416,808	24,048,715
セグメント利益又は損失 ( )	38,609	56,182	424,969	330,178	102,070	432,248

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	330,178
「その他」の区分の利益	102,070
セグメント間取引消去	1,880
全社費用(注)	539,979
四半期連結損益計算書の営業損失( )	109,612

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

なお、当該変更によるセグメント利益又は損失への影響は軽微です。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額( )	53銭	1円46銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額( )(千円)	46,877	129,607
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失金額( )(千円)	46,877	129,607
普通株式の期中平均株式数(千株)	89,038	89,036

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月13日

林兼産業株式会社  
取締役会 御中

監査法人 大手門会計事務所

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 植木暢茂 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 武川博一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている林兼産業株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、林兼産業株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。